

# 編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
26-152	高等学校	外国語	コミュニケーション英語 I	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
15 三省堂	コ I 335	VISTA English Communication I New Edition		

## 1. 編修の趣旨及び留意点

本書は、英語教育を通して、次の3点を教育理念として掲げ、それを具現化するために編修されたものである。

### 1. 「ことばの教育」に資する

コミュニケーションのためのことばの知識・技能の習得に加えて、ことばに対する興味・関心を高め、考える力・思考力・表現力を伸ばし、豊かな言語観を育成する。

### 2. 「国際理解教育」に資する

ますます複雑化する国際社会の中で、比較文化の視点に立ち、世界のさまざまな言語や民族に対して目を向けさせ、人類としての共通性だけでなく地域や民族の個性も同時に尊重し合う、豊かな文化観と真の国際理解の基礎を養う。

### 3. 「人間教育」に資する

今日のグローバル社会に生きる子どもたちに、英語を学びながら、人間としての生き方やものの見方、考え方、ならびに世界観に目を向けさせ、社会の中で自らの力で考え、判断し、表現できる力を培う。

## 2. 編修の基本方針

英語教育は、学校教育の一環としての人間形成の教育であり、ことばの教育を教科独自の課題とし、国際理解教育に対してはとりわけ大きな役割を担っている。この認識に基づき、特に次の5点を基本方針とする。

- ことばと人間との関係やことばと社会との関係など広くことばへの関心を高め、豊かな言語観を育てる。
- ことば、文化、民族の多様性とその共存を国際理解の基本理念とし、国際感覚と国際協調の精神の育成を図る。
- 言語能力の本質としての思考力の養成を土台として、英語の基礎的な知識や技能の習得、コミュニケーション能力の養成を図る。

4. 実際のコミュニケーションにおけるメッセージの役割を重視し、生徒の興味・関心を喚起する題材内容を提示すると共に、「言語の使用場面」と「言語の働き」に留意しながら、創造的な言語活動を目指す。
5. 中学校における学習で習得した基礎的な能力を更に伸長させながら、4技能における言語活動の総合的かつ統合的な関連を図る。

### 3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
題材	① 取り扱う題材は、生徒の知的欲求に合致するものを選択した。(第1号)	LESSON, Reading Skill, USE ENGLISH など (例) LESSON 1, 4, 12
	② 読み物においては、高校生の感性に訴える作品を配置した。(第1号)	ENJOY READING
	③ キャリア教育(第2号)、平和教育(第5号)、科学教育・環境教育(第4号)、生命の尊重(第4号)、正義と責任(第3号)、および国際理解教育に結びつくものとして、わが国の伝統文化や他国の文化を扱ったもの(第5号)を配置した。	自分の将来について考える(第2号) LESSON 9, 12  平和を考える(第5号) LESSON 8  科学・環境に関心を持つ(第4号) LESSON 1, 11  生命の尊重(第4号) LESSON 8  正義と責任(第3号) LESSON 4  日本の伝統文化(第5号) LESSON 6 Reading Skill 1  他国の文化(第5号) LESSON 3 Reading Skill 3
言語活動	① 各課末の言語活動は、取り組む生徒の個性、創造性が発揮されるようにした。(第2号)	PRACTICE, USE ENGLISH (例) PRACTICE (L6, 12) USE ENGLISH (L9, 10, 12)
	② ペアやグループなどの形態を重視し、生徒同士が協力して活動に取り組めるよう配慮した。(第3号)	ENJOY COMMUNICATION, USE ENGLISH, PRACTICE (例) ENJOY COMMUNICATION 3 の TALK LESSON 10 の USE ENGLISH 2
登場人物	主な登場人物の配置及び活動においては、男女・出身	Get Ready 3, LESSON

	地域の偏りがないように配慮した。(第3号、第5号)	
構成	学ぶ目標、学ぶプロセス、学ぶポイント、などが生徒たちにわかりやすく提示され、学ぶ意欲を喚起し、自ら学ぶ力が育成されるように配慮した。(第2号)	目次, LESSON, Look and Learn など

#### 4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

1. 日本の文化については、理解するとともに発信していく態度を養えるように題材、活動の面で配慮した。
2. 外国の文化については、英語を母語とする地域のみならず、国際理解の観点から他の地域の文化についても扱った。
3. ことばへの関心などについても、多面的に考えることができるように扱った。
4. 人間としての豊かな心や人間のもっている微細な感情を意識し、そしてまた、幅広い観点からものごとを考えることができるような習慣形成に資する読み物を配置した。
5. 環境にやさしい教科書づくりを心がけた。用紙については、環境の保護、資源の節約のため、原料や製法に配慮した、環境にやさしい紙を使用した。インキについては、植物由来の油および、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業联合会認定の植物油インキを使用した。

# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
26-152	高等学校	外国語	コミュニケーション英語 I	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
15 三省堂	コ I 335	VISTA English Communication I New Edition		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

学習指導要領の総則に示された教育の方針や高等学校外国語科の教科目標「外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う」、および本書の教育理念に基づき、教科書の構成・配列と各領域などの系統・内容に関して以下のことに特に意を用いた。

### (1) 基本方針

- ①多様化している生徒の実態を考慮し、質量ともに充実を図る。
- ②中学校の外国語科(英語)の内容を踏まえて、中・高の接続が円滑に図られるように配慮する。
- ③4技能のバランスを重視し、総合的・統合的に英語でのコミュニケーション能力が育成できるように構成、内容を工夫する。
- ④学ぶ目標、学ぶプロセス、学ぶポイントなどが、生徒たちにわかりやすく提示され、学ぶ意欲を喚起し、自ら学ぶ力が育成されるように配慮する。
- ⑤基礎的な知識や技能を確実に習得し、およびそれらの知識や技能を実生活の中で活用できる力を、繰り返し、段階的に育成できるような教科書構成にする。
- ⑥英語の文章を読んだり聞いたりすることにより、視野を広げ、ことば・文化・人間・社会・自然などについて考えたり、多くの人とかかわる経験をする中で、思考力・判断力・表現力を養えるような配慮をする。また、そうした活動・体験を通して、他を受け入れ、個人の価値を尊重することのできる豊かな心を育成し、自分の考えや自分たちの文化を外に発信していける力を培える内容にする。
- ⑦学んだ内容の深化・発展に弾力的に取り組めるように、課末の設問や活動、課間の活動、巻末の付録などを充実させた。

### (2) 本書の特色と編修上の留意点

#### A. カリキュラムと分量

教材の精選をはかり、カリキュラムにゆとりをもたせた。

#### B. 題材内容

1) ことばの教育、国際理解教育、人間教育を題材内容の基本とし、これらの領域で生徒の知性や感性を考慮して、生徒の興味を喚起する内容にした。

2) 題材は、日常生活・学校生活、地球環境、日本文化、比較文化、平和、自然科学、芸術・音楽、社会貢献、ことば、歴史、人間としての生き方など多様な内容にした。文章は、スピーチ、インタビュー、プレゼンテーション、対話文、説明文、Eメール、物語など変化をもたせた。

3) 場面や登場人物は、英語が広く使われている現況と国際理解の課題との関係から、日本を中心に、英米を中心とした英語圏諸国、アジア、ヨーロッパ、アフリカ、中南米の国及び人物を配置した。

### C. 言語材料の扱い

- 1) 言語材料は、活発で多様な言語活動を展開することができるように配慮した。
- 2) 「文法事項」は表現活動に活用することを基本として、「コミュニケーション英語 I」では、より基本的な文法事項を扱った。
- 3) 「文構造」は、英語で言語活動を行うにあたって使用できるように、より運用度が高いものを扱った。
- 4) 高校入門期には、「Get Ready!」「ののちゃんの英文法」を設けて中学校における基本項目の確認とし、本課に負担なく移行ができるように配慮した。
- 5) 「基本文」は **STUDY IT!** で示し、既習語による文として提示した。
- 6) 「単語」は、中学校既習語を 832 語とし、それ以外の語を新語として傍注で示した。また、「連語・熟語」「表現」については、脚注上段で示した。
- 7) 「音声」については、標準的な米音を基本にした。

### D. 言語活動

言語活動は、主に本課本文、**USE ENGLISH!** などで「言語の使用場面」を示すとともに、4技能の総合的・統合的な関連が図れるように、スピーチ、プレゼンテーション、インタビュー、書籍記事、ポスター、対話、Eメール、カード、ウェブページ、DVD の制作などさまざまな形式を工夫した。

また、「言語の働き」に留意し、特に会話で多用される慣用的な表現についても、中学校における学習を踏まえながら、基本的なものを精選して系統的に扱った。

### E. 本書の構成と内容

- 1) 各課の本課本文は、4技能の習得を目指す総合的な教材とした。各課のセクション数は原則として2～3で構成されている。
- 2) 各課の基本文は **STUDY IT!** で示し、本文では〈本のマーク〉として示した。
- 3) 各ページの傍注には新出語、脚注には、上段に熟語・連語、表現、中段に本文の内容に関する **Q&A!**、下段には音声指導のための、音の連結、区切り、強勢、リズム、イントネーションを扱う **SAY IT!** を配置した。さらにその下に、本文中に出てくる語の、語源や背景知識について触れる **WORD WATCH** を配置した。  
本文使用語のうち、中学校既習とみなした語は巻末「**WORD LIST**」の中で太字体（ボールド体）で示した。
- 4) 各課の練習は、「**THINK!**」「**STUDY IT!**」「**PRACTICE!**」「**USE ENGLISH!**」で構成し、4技能の言語活動が、総合的・統合的に行われるように配慮した。  
「**THINK!**」は、本課の中心的なテーマをつかむための読解問題と要約。「**STUDY IT!**」では、本課で扱う基本表現を提示し、それに関連する文型・文法項目を提示した。「**PRACTICE!**」は、新出の文法項目や連語・熟語、表現などの練習問題。「**USE ENGLISH!**」は、本課の題材内容に関連して、発信型の創造的な言語活動に資するものとした。
- 5) 「**ENJOY COMMUNICATION!** (会話を楽しもう!）」では、日常会話の中で使われる特有な表現の基本的なものを扱った。
- 6) 「**Reading Skill** (読むコツ)」では、読み方の技術としての基本を系統的に示した。
- 7) 「**Look and Learn** (文法のまとめ)」を設け、文法事項の整理と確認に資した。
- 8) 「**Take a Break!** (ちょっと一息!）」では、クイズ、漫画、歌などを扱った。
- 9) 巻末には、課末の「**USE ENGLISH!**」の活動をより活発に促すために、「**USE ENGLISH!** 表現集」を掲載し、学習上の配慮とした。
- 10) 巻末付録には、「動詞の不規則変化」「音声スクリプト」「英語の音」を配置し、「**WORD LIST**」では、中学校既習とみなした語 (832 語) とコミュニケーション英語 I の新出語 (394 語) を掲載し、その初出ページを示した。

## 2. 対照表

	構成・内容 (■=LESSON など ●=サブ ◆=Get Ready など ○=付録)	学習指導要領の内容
言語活動	■WARM UP! 題材内容に関する文の聞き取りをする。 ■PRACTICE! 1 簡単な文脈の中でターゲットとなる文法事項を含む文の聞き取りをする。	第2款 第2 2(1)ア
	■LESSON ターゲットとなる文法事項を含む文を、黙読または音読する。 ■Q&A! 本文内容の要点をとらえる。 ■THINK! 本文内容の概要をとらえる。 ●Reading Skill 読む活動の補充・深化のため、読むためのコツを学ぶ。 ■ENJOY READING! READING ALOUD! で、聞き手に伝わる音読を練習する。	第2款 第2 2(1)イ
	■USE ENGLISH! (p.56, p.74, p.82, p.92, p.108) 素材をもとに、情報や考えなどについて、伝えて話し合ったりする。	第2款 第2 2(1)ウ
	■USE ENGLISH! (p.56, p.82, p.92, p.108) 素材をもとに、情報や考えなどについて、簡潔に書く。	第2款 第2 2(1)エ
	■SAY IT! 本文を素材に、リズムやイントネーション、母音子音などを練習する。 ■ENJOY READING! READING ALOUD! で話す速度や声の大きさなどに注意しながら音読を練習する。	第2款 第2 2(2)ア
言語活動の配慮事項	●Reading Skill 2 読む活動の補充・深化のため、つながりを示す語句に注意しながら読む練習をする。	第2款 第2 2(2)イ
	■USE ENGLISH! (p.74) 事実と意見を区別しながら理解する練習をする。	第2款 第2 2(2)ウ
言語活動の取扱い	*学習指導要領で例示された場面について、各単元で取り扱うよう適切に配置した。(→カリキュラム表参照)	第2款 第2 3(1) 第3款 1
	*各 LESSON の言語活動では、当該の言語材料が効果的に使われるよう配慮して、それらの定着を図るとともに、使用場面を明確に提示し、場面に応じた表現の練習ができるように配慮した。	
	*ENJOY COMMUNICATION! では、食事、買物、道案内などの場面や働きを扱った。	第4款 2(4)
	*さまざまな学習形態の言語活動を配置し、多彩な授業展開ができるように配慮した。 ◆Get Ready! 3 クラスルームイングリッシュの表現を学ぶことにより、英語で行われる授業の進行を促すように配慮した。	第3款 4
音声	■New Words 欄 発音表記とともに発音練習をする。 ■SAY IT! 本文中の語に関して、発音表記とともに音読のヒントを提示した。 ○英語の音(付録) 発音とつづりの関係をまとめた。	第4款 2(2)
単語・表現	■New Words 欄 本文中の新出の語を提示した。重要度の高いものについては太字で示した。 ■脚注欄 本文中の連語、慣用表現、短縮形を提示した。 ■WORD WATCH 本文中に出てくる語の、語源や背景知識などの解説を提示した。 ○WORD LIST 本文中に出てくる語について、アルファベット順に示し、品詞や意味などを提示した。	第3款 3ア 第3款 2ア(ア) 第3款 2ア(イ)
文法	◆のちゃんの英文法 中学校で学んだ基礎的な文法事項を、解説とイラストによって振り返る。 ■LESSON 本文 ひとつ前の LESSON で学んだ文法事項の文にマークを付けて、繰り返して定着を図るよう配慮した。 ■STUDY IT! 各 LESSON 配当の文法事項を、解説とイラストによって振り返る。 ■PRACTICE! 各 LESSON 配当の文法事項を、練習問題を行うことによって身につける。 ●Look and Learn 1~5 既習の関連のある文法事項をまとめ、英文と訳、DRILL によって振り返る。 ◎動詞の不規則変化 不規則動詞のうち基本的な単語の変化形を掲載した。 *各 LESSON に配当された言語材料は本文にマークが付され、段階的に配列された言語活動(DRILL, PRACTICE!)の中で実際に使っていく。特に PRACTICE! においては、実際のコミュニケーションを体験しながら学習事項が定着するように配慮した。	第3款 3イ 第3款 2イ・ウ 第3款 3ウ

題材	<p>*LESSON, ENJOY READING!, ENJOY COMMUNICATION!, Reading Skill, Take a Break! などの本文や言語活動においては、生徒の発達段階および興味・関心に即した題材を配置した。</p> <p>*①学び、②ことば、③日本文化、④異文化、⑤自然理解、⑥社会理解、⑦人間理解の7つの領域をバランスよく配置した。</p> <p>*形式は、スピーチ、プレゼンテーション、インタビュー、書籍記事、ポスター、対話、Eメール、カード、ウェブページ、DVDの制作など、変化をもたせた。</p> <p>*場面は主として日本とした。</p> <p>*登場人物の出身国は、日本、英語圏、その他の国をバランスよく配置した。</p>	第4款 2(1)
中高接続	<p>◆Get Ready! 1~3 中学校で学んだ、アルファベットや単語の書き方、辞書の引き方、クラスルームイングリッシュの内容をふり返り、高等学校の英語学習内容への橋渡しをする。</p> <p>◆ののちゃんの英文法 中学校で学んだ、基礎的な文法事項をふり返り、高等学校の英語学習内容への橋渡しをする。</p>	第2款 第2 3(2)
自律学習	<p>◆Get Ready! 2 辞書の引き方を知ることによって英語の学習の仕方を身につけ、自律的な学習を促す。</p> <p>◎USE ENGLISH! 表現集 各 LESSON の USE ENGLISH! で学んだ「言語の働き」の表現をさらに増やせるよう、補充の例文を提示し、自律的な学習を促す。</p> <p>■日付欄、New Words 欄チェックボックス 学習記録を目的として、日付を記入したり、覚えた単語のチェックボックスにマークをつけたりして、自律的な学習を促す。</p> <p>◎目次 1年間の学習内容(題材、文法事項)を一目でとらえられるように提示し、計画的な学習を促す。</p>	第4款 2(3)

### (別記)カリキュラム表

GR=Get Ready!, のの=ののちゃんの英文法, L1=LESSON 1, UE=USE ENGLISH!, ER=ENJOY READING!

LL=Look and Learn, TB=Take a Break!, EC=ENJOY COMMUNICATION!, RS=Reading Skill

新出単語数(394), 年間配当時間(67)

セクション		主な言語材料	題材/場面	働き	L	S	R	W	配当時間
GR	Get Ready 1	アルファベット・単語						○	1
GR	Get Ready 2	辞書					○	○	1
GR	Get Ready 3	基本会話		質問する, 命令する, 注意を引く, 申し出る, 聞き直す, あいさつする	○	○			1
のの	ののちゃんの英文法	主語, be 動詞, 一般動詞, 目的語, 形容詞, 副詞, 前置詞, 冠詞					○	○	2
L1	Kerama Blue	be 動詞, 一般動詞	共生・環境/学校	説明する	○	○	○	○	2
L2	Cool Japan	疑問文, 現在進行形	日本・文化/学校	質問する, 説明する, 驚く, 話題を発展させる	○	○	○	○	2
L3	Mexican Dishes	過去形, 助動詞	世界無形文化遺産・食文化/学校	質問する, 説明する, 理由を述べる	○	○	○	○	2
LL1	Look and Learn 1	代名詞, 基本文型, 肯定文・否定文・疑問文・命令文, 助動詞							1
L4	The Olympics	SVO(O=that ~), SVOO, SVOC	オリンピック・スポーツ・歴史/学校	説明する, 主張する	○	○	○	○	4
UE	気持ちを伝えよう		手紙・メール	気持ちを伝える		○	○	○	
TB1	宝の箱をさがそう						○		1
L5	Baobabs in Madagascar	不定詞	環境/学校	質問する, 説明する	○	○	○	○	4
UE	説明しよう		学校	説明する			○	○	
EC1	Nice to Meet You.		あいさつ/学校	あいさつする, 気持ちを伝える	○	○			1
LL2	Look and Learn 2	基本文型, 不定詞							1
RS1	主語と動詞を見つけよう						○		1

L6	Toothbrushing in Edo	動名詞	日本文化・日常生活／学校	説明する, 描写する	○	○	○	○	4
UE	ほめよう		学校	褒める		○	○	○	
TB2	ののちゃん						○		1
L7	Machu Picchu	現在完了形	世界遺産・文化・歴史・共生／学校	質問する, 説明する, 話題を 発展させる, 描写する, 驚く	○	○	○	○	4
UE	友だちを誘おう		ポスター・メール	誘う			○	○	
EC2	Today's Special		食事	質問する, 依頼する	○	○			1
LL3	Look and Learn 3	動名詞, 現在完了形							1
RS2	文をつなぐ語をさがそう						○		1
L8	Motala and Landmines	受け身	平和／学校	説明する, 質問する	○	○	○	○	4
UE	事実を報告しよう		インターネット	報告する		○	○	○	
TB3	歌ってみよう				○	○			1
L9	Dick Bruna	関係代名詞	人物・芸術／学校	説明する, 質問する	○	○	○	○	4
UE	提案しよう		学校	提案する				○	
EC3	How About This One?		買物	あいさつする, 質問する, 助 言する, 依頼する	○	○			1
LL4	Look and Learn 4	受け身, 関係代名詞							1
RS3	ことばのまとまりに注目しよう						○		1
L10	Tsujii, the Great Pianist	関係副詞, It is ~ (for A) to do ..., It is ~ that A do ...	人物・音楽／雑誌・インタビュ ー・家庭	質問する, 説明する, 主張す る	○	○	○	○	4
UE	理由を述べよう		英字新聞	理由を述べる	○	○		○	
TB4	英語で言ってみよう				○	○			1
L11	Ideas from Nature	分詞構文	生物科学／本・家庭	説明する, 理由を述べる	○	○	○	○	4
UE	相手の注意を引こう		DVD	注意を引く				○	
EC4	It's on Your Left		旅行・道案内	注意を引く, 行き方をたずね る, 聞き直す, 説明する, 感 謝する	○	○			1
L12	Steve Jobs	仮定法過去	人物・ことば／インターネット	説明する, 仮定する, 主張す る, 望む	○	○	○	○	4
UE	主張しよう			主張する, 理由を述べる	○	○	○	○	
LL5	Look and Learn 5	関係副詞, 形式主語 it, 分詞 構文, 仮定法過去							1
ER	The Little Prince		物語／本			○	○		4